

「安全・安心な小野町の農産物」

を首都圏にPR



福島県産農林水産物PR支援事業を実施

東日本大震災にともなう東京電力福島第一原子力発電所放射能事故から間もなく3年になろうとしています。

福島県はもとより小野町の農畜産物は風評被害にさらされ、現在もそれ以前の信頼を回復していないのが現状です。そこで、首都圏に向け、町農

産物等の「安全・安心」をアピールするため、福島県の事業を活用し、秋から冬にかけて、首都圏において小野町産品のPR事業を実施しました。

PRを実施した中で、「福島県産」を好意的に受け止められた方も多く(グラフ1)、「福島県産を意識する」の中には、「積極

的に福島県産を買う」「福島県は放射性物質を検査しているから安心度が高い」など、いままでの取り組みが評価された意見も数多くありました。

今後、引き続き「安全・安心」をPRするとともに、農畜産物の品質向上を支援する取り組みを実施してまいります。

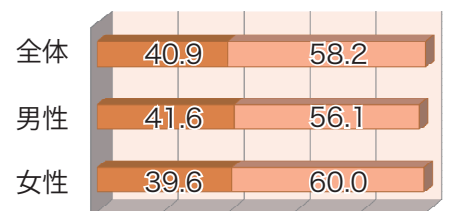


- 1/横浜市戸塚駅
- 2/東京国際フォーラム大交流フェア
- 3/栃木県那須町九尾まつり
- 4/浅草セントラルホテル
- 5/栃木県矢板市ともなひまつり
- 6/東京駅前八重洲交流館
- 7/東京国際フォーラム町イチ!村イチ! 2014

グラフ1

＜福島県産品意識する?しない?＞
1月18日・19日「町イチ!村イチ!
2014でのアンケート」

(単位%)



■意識する ■しない